

経営比較分析表（平成28年度決算）

北海道 夕張市

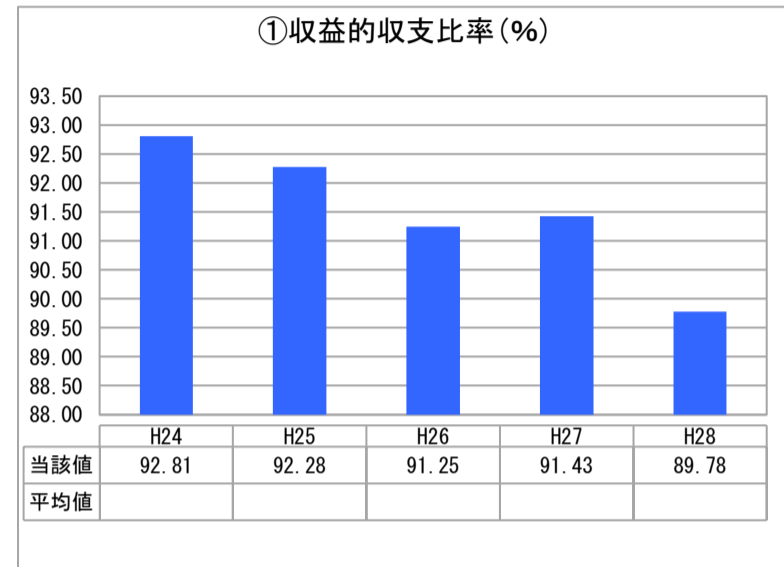
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	28.08	52.88	5,008

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,685	763.07	11.38
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,428	2.48	979.03

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



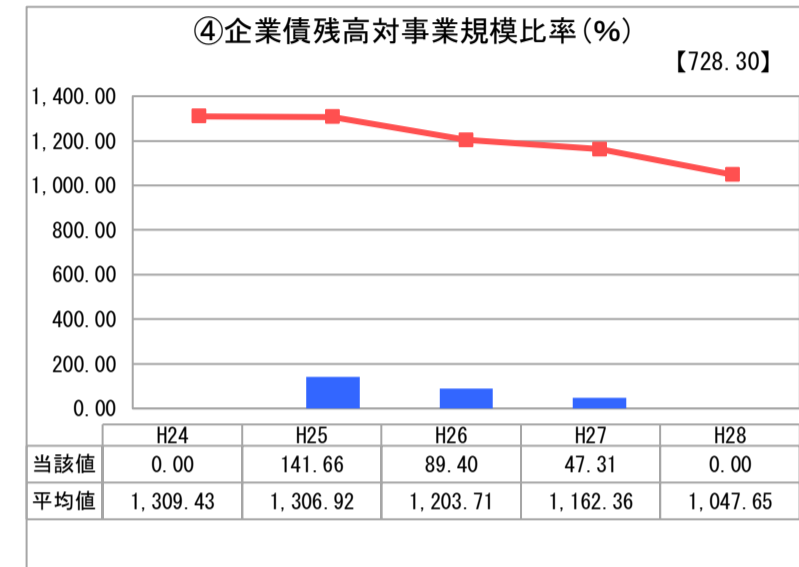
「単年度の収支」



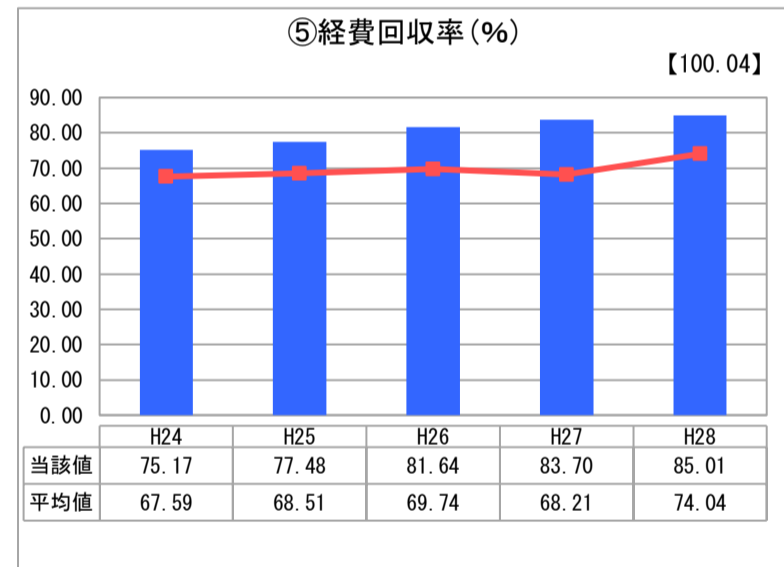
「累積欠損」



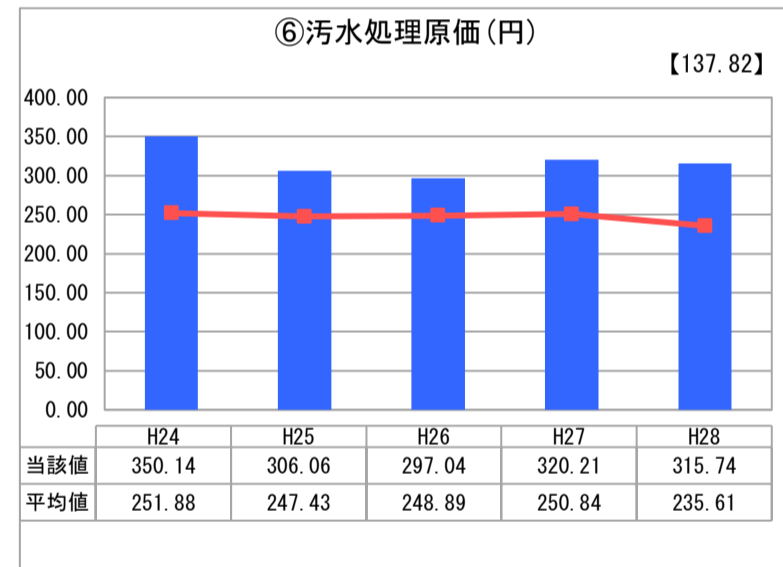
「支払能力」



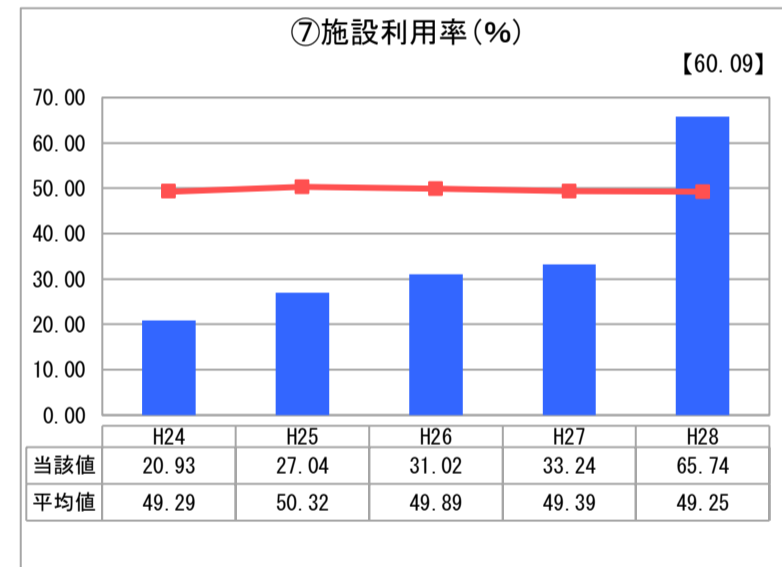
「債務残高」



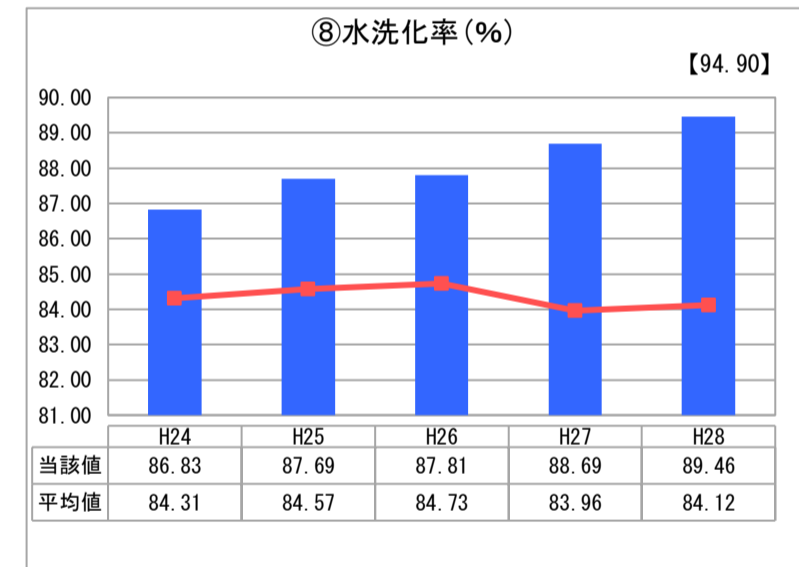
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

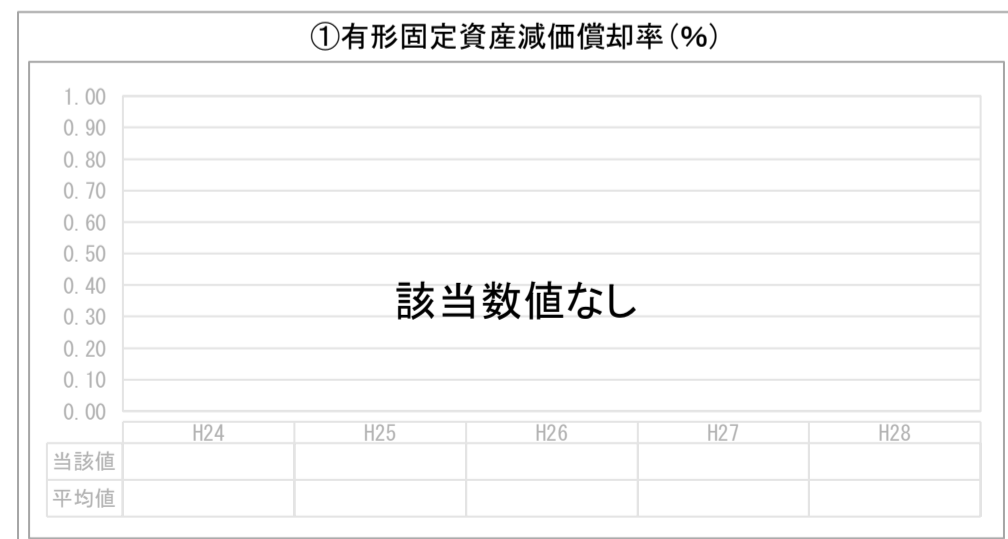


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

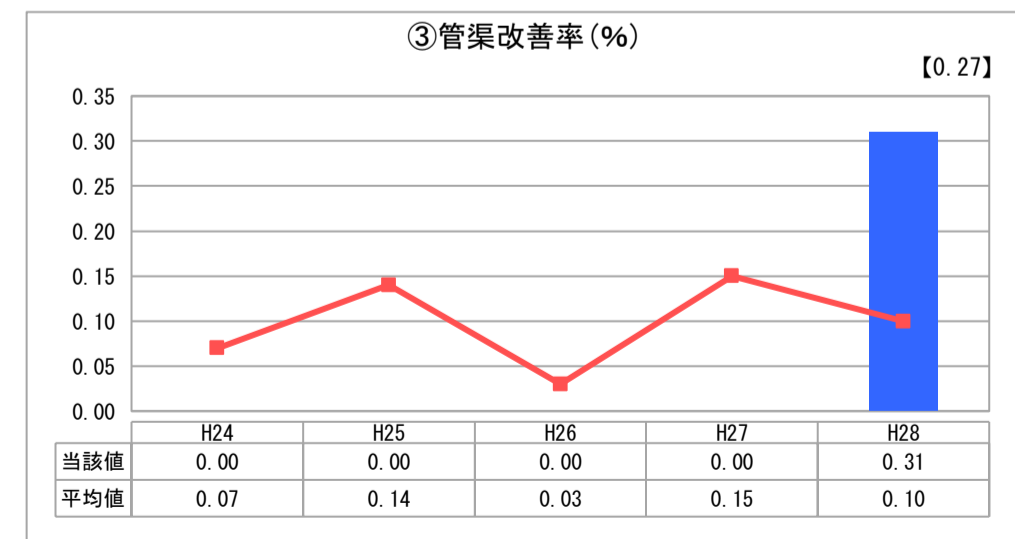
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 収支状況が改善となるよう、引き続きさらなる経費節減及び収入確保に必要がある。
- ④ 類似団体と比較して低い数値で推移している。
- ⑤ 類似団体と比較しても高い数値となっているおり、毎年改善傾向ある。
- ⑥ 地理的要因等によって、類似団体と比較しても高い傾向にある。
- ⑦ 類似団体と比較しても高い数値にある。
- ⑧ 現在処理区域内において、類似団体と比較しても高い数値となっている。

2. 老朽化の状況について

- ③ 類似団体平均を下回っている。橋梁の架換に伴い管路の更新を実施した。管渠は法定耐用年数が経過するまで期間があるが、今後、計画的な更新を検討する必要がある。

全体総括

当市の下水道事業の経営は、使用料以外の収入で賄っている部分があるため、健全・効率的な経営のために、今後は収納率の向上及び経費節減に向けた取り組みを行う必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。